

テーマ設定型提案募集シート

件名	使用済み紙おむつの資源化推進事業
解決したい課題	【現状】 木更津市では、環境負荷の少ない循環型社会の構築、また、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行をめざした取組を推進しています。 今年度は、プラスチックごみの一括回収や剪定枝・学校給食残渣、衣類の資源化の推進に向けた検討や実証などにより、焼却処理しているごみのリサイクル率向上に取り組んでいます。 合わせて、今後、高齢化の進行に伴い、排出量の増加が見込まれる使用済み紙おむつを分別収集し、資源利用する取組を進めたいと考えていますので、市内の家庭や介護施設等から排出される使用済み紙おむつの効率的な回収、収集・運搬、処理（再生利用等）の手法を構築する必要があります。 【目指す姿】 資源が有効に利用されることで、ごみの減量化が図られるとともに、ごみの焼却量の減少によりCO₂排出量の削減を目指します。
市が提供可能な資源等	使用済み紙おむつの効率的な回収、収集・運搬、処理（再生利用等）の手法を構築に向け、必要な資源等の提供について協議させていただきます。
留意点	使用済み紙おむつの収集等に伴う経費等の増加幅が処分経費等の減少幅を下回り、新たな財政負担が生じないようにお願いします。
参考情報	令和4年度の本市のごみの排出量 55,020 t うち、使用済み紙おむつの排出量（推計値） 2,861 t （環境省の推計値（一般廃棄物に占める紙おむつの割合（2020年：5.2%～5.4%）から積算）
事業担当部署	環境部 資源循環推進課 資源化推進係
制度担当部署	企画部 オーガニックシティ推進課 公民連携係

※この様式によりがたい場合は、任意の様式で作成して構いません。